



屋根を二重構造にして空気層をつ
くった部分に断熱材を施工
断熱材には杉の皮をトウモロコシ
のボンドで固めたフォレストボー
ドを使用



新建材やベニヤ板などを一切使用
せずに竹を編んで土壁での施工
※土壁は断熱性能より蓄熱性能が
優れています

まるで**自然の中**にいるかのような家

「昔の家は木と土
と紙だけで
作られた最高の
エコ住宅だった」

これをもとに、伝統
構法で金物を使用せず
昔ながらのコミセン
(込栓・伝統構法仕口
技術)と木組みで骨組
みを組上げ、壁には土
を塗り、造り上げまし
た。

外装材と内装材につ
いても、無垢材と漆喰
で仕上げ、家の中にい
ても

まるで自然の中にある
かのような澄んだ空気
の空間が広がる家に設
計・施工しました。

物件のデータ

◆新築一戸建て

◆コンセプト

「木と土と紙だけで
つくる家」

◆工事内容

構造材は京都府内産の桧を
使い伝統構法で建築しまし
た。

屋根と床下にフォレスト
ボードを使用し断熱性能を、
壁は150ミリ厚の土壁を塗
り蓄熱性能をもたせた造り
になっています。

◆工事期間 1年～1年半

◆金額 80万~/坪

◆施工 株式会社
能見工務店

